

TOPIC 4 日本の伝統的な遊びを体験

1/26 庶路学園1・2年生がたこ揚げ

日本の伝統的な遊びを体験してもらおうと、庶路・西庶路たこあげ同好会（富田忠行会長）の協力により庶路学園の1、2年生が「たこ揚げ」を行いました。

たこは17日、富田会長をはじめとする同好会のメンバーを講師に製作。児童たちは和紙に好きな絵を描いて、竹ひごの骨組みや足を付けて完成させました。

たこ揚げは26日、同校のグラウンドで行われ、この日は風が強い中でしたが、みんな元気いっぱいグラウンドを駆け回り、たこ揚げを楽しんでいました。



自分の手作りたこを揚げて楽しむ児童たち



ボッチャを楽しむ参加者

TOPIC 5 冬期間の運動不足を 楽しみながら解消

1/30 エンジョイスports教室

「エンジョイスports教室」が1月30日と2月2日に総合体育館で行われました。30日はボッチャ、2日はゲートカーリングが競技種目。

30日のボッチャには、全国ボッチャ選抜甲子園にも出場した白糠養護学校の生徒5人を含む21人が参加。

参加者は真剣な表情でボールを投げ、上手な投球には会場から歓声が沸きました。同校の高坂悠輝さん（高等部3年）は「みんなで盛り上がりながらやるボッチャは楽しいです」と笑顔で話していました。

TOPIC 2 母の会の輪を広げていく

1/24 交通安全母の会設立40周年記念式典

交通安全母の会（廣谷スマ子会長）の設立40周年記念式典が社会福祉センターで開かれ、会員や来賓約80人が出席し、さらなる飛躍を誓いました。

同会は1982年9月「交通安全は家庭から」をスローガンに発足し、以来交通安全の啓発活動に取り組んでいます。式典では、廣谷会長が「声掛け運動などを通して多くの方と交流し、楽しく過ごしてきました」と活動を振り返り「今後も関係機関と連携しながら、母の会の輪を広げていきたい」とあいさつを述べました。



白糠童謡唱歌をうたう会が、同会の歌「いつも笑顔で」を披露

TOPIC 6 3年間で学んだ成果を発表

1/31 ビジネスプラン成果発表会

白糠高校の3年生による「ビジネスプラン」の成果発表会が同校体育館で開かれました。

発表会では、3年生19人が6グループに分かれてビジネスプランを披露。「馬主来沼をDIY!!!」と題して発表したグループは「馬主来は海と沼がつながっている珍しい地域。それを生かして観光地にはどうか」と提案。「馬主来沼でのワカサギ釣り体験や流木を使ったアート作品の展示、アイヌ料理の販売などで観光客を呼び込みたい」と発表していました。



スライドを使ってビジネスプランを発表する生徒たち



入賞を祝いクラッカーを鳴らす職員

TOPIC 3 4年連続 ふるさと納税賞受賞

1/25 ショップ・オブ・ザ・イヤー2022受賞式

ふるさと納税で通販サイト「楽天市場」を活用している約1,500自治体の中から、毎年3つの自治体に贈られる「ショップ・オブ・ザ・イヤー2022」ふるさと納税部門で、白糠町が4年連続となるふるさと納税賞を受賞しました。受賞は約0.2%の狭き門。

東京都内で開かれた受賞式には、棚野孝夫町長と企画財政課の柴田智広参事が出席。町役場では同課職員がYouTubeで受賞式を觀賞し、白糠町が発表されるとクラッカーを鳴らして祝いました。